

幼児・児童の交通安全研修

研修センターでは、幼児・児童に年齢に合った研修をしています。
幼児ならば歩行を中心に自転車の乗り方、ブレーキのかけ方など。



小学生は、高学年であれば、自転車の交通ルールに沿った乗り方、歩行者などと事故になってしまった時は、加害者になってしまうことなどを指導しています。

幼児は、主に小学校にあがる前の年長さんが来てくれています。当センターには、実際の道路を模した歩行・自転車コースがあるので、交通ルールについてお話をしてから、実際に1人ずつもしくは2人ずつでコースを歩きます。気をつけるポイントには指導員がおり、確認の仕方など子どもの目線に合わせて指導しています。

研修中は、子ども達は緊張しながら、恥ずかしそうにしながらしていますが、実際にはどうでしょうか。お友達とおしゃべりをしながら、遊びながら歩いていたりしますよね。子どもの特徴として一つのことに夢中になると周りが見えなくなってしまういます。おしゃべりに夢中になって確認せずに道路に出てしまったりしていないでしょうか。追いかけてこをしながら、他の歩行者や自転車をすり抜けて走っていないでしょうか。



おうちでも気をつけることについて
繰り返し話してください。
その時は、抽象的な言葉ではなく
具体的に話してくださいね。



小学校高学年であれば、自転車に乗る機会が多いと思います。研修でもほとんどの児童が自転車に乗れます。でも自転車に乗れるのと交通ルールに沿って乗るのとは別ですね。研修中でも友達にはやし立てられてふざけて乗る児童にもいます。その時は、止めて注意をしますが、実際の道路では、止めて注意をする人がいません。事故に遭ってからでは遅いです。交通ルールを守って、楽しく自転車に乗りましょう！

幼児・児童の研修は、1年前から予約が出来ます！
研修内容は、園や学校の要望に沿って、ご提案します。
研修申込は、HPにも案内しています。

